学校では、毎日様々なトラブルが起こる。そのほとんどが「対人関係」の問題。言った言わないからやったやってない・・・教師の目の前で、起きたことはすぐに対応できるが、教師の知らないところで起きるのが常▼多くは、本人からの訴えや保護者からの連絡で判明する。わたしたちは、警察ではないから、「悪いのはだれか」だけを追求するものではない。「事実」にたどり着き、その背景を探る。「捜査」をするわけではない▼この「事実」にたどり着くまでが時間がかかる。一方的に話を聞くことをせず、当事者の子や見聞きした子から聞き取りをする。厄介なのは、「覚えていない」という子▼（おーい！悲しんだり傷ついたりしている子がいるんだぞ！）あなたは覚えていないかもしれないけど、それは許されないのだ！▼その次に厄介なのは、「うそ」をついてしまう子。「うそ」をつくように大人が仕向けてしまっている可能性もある▼正直、もめごとの多くは、大なり小なりどっちもどっちである。一方的に、言った！やった！はほとんどない。教育の仕事はここからである。わたしたちは、「人」を育てているのだ▼不適切な言動をする子のまわりには、それを助長する子がいることもある。本人が一番変わらないといけないが、それ以上にまわりの子も変わらないといけない。時間がかかる。教師にはあきらめない気の長い指導が求められる。

070609-9